

# 平成 25 年度 第 1 回奈良県健康長寿文化づくり推進会議 議事要旨

日 時：平成 25 年 11 月 5 日（火）14:00～16:00

場 所：奈良商工会議所 4 階 小ホール

出席者：

（委員）穴吹宏樹、伊藤宏子、黒飛文子、藤尾庸子、槇野久春、松崎三十鈴、  
榊井貞男、吉田恵美（五十音順）

（オブザーバー）江南政治

概 要：

（以下、主な意見・質問（→）事務局発言）

## （1）＜議題 1＞「平成 26 年度の健康長寿に向けての取組方策について」

1) 事務局より、なら健康長寿基本計画の概要、健康長寿等に関するデータ、健康長寿に関する分析研究について（資料 1）説明。

○平均寿命について平成 23 年男性は全国で 2 位と、経年的に見てもここだけが特に良いように思うが、原因について何か分析されているのか。

→これが原因ということは分析できていない。今後、突き止めていかないとと思っている。

資料 1 の 5 ページを見ていただくと、17 年から県は全国とほぼ同じように動いているが、23 年は全国数値が下がったにもかかわらず、奈良県の数値だけが上がっているために、差がひらいて 2 位となった。それが 24 年では奈良県は下がり全国が上がった結果 5 位となった。23 年は震災があったが、それほど全国値には影響していないようである。また、奈良県の男性の平均余命が 23 年から 24 年に 0.2 下がっており、それが健康寿命も 0.2 下がったことになっているが、これも原因はわかっていない。

○戦略会議で計画の評価をしていくということであるが、評価があつて施策につながり、施策から事業の推進があると思うが、実際の推進はどのようにされるのか。

→評価をしっかりとやり、数字の良いところはなぜ良いのか、数字の悪い結果はどこに課題があるのかを県も一緒になって考えていきたい。例えば市町村のがん検診受診率をみても、取り組みが様々であり、課題も違う。来年度、モデル市町村で重点的に健康づくりの取り組みを行い、その評価を他市町村へも広げていく予定である。すべての市町村をまとめて一つの方針では進められないので、それぞれの市町村に応じ、課題を分析しそれに対する処方箋をきっちり一緒に考えていく姿勢で取り組みたい。

○小さい市町村から大きな市町村まで様々あるので、統一的に進めていくのは難しいというお話があり、それはよく分かるが、モデル的な市町村で重点的に事業を実施し、効果を評価していくということと言われたがそれも入るのか。

→モデル的にやって、どれぐらいの効果が出るかを検証していく。効果が出なければ他の市

町村にも、こういう課題がある、またこういう課題のある市町村はこうすれば効果が上がるなどを伝えていく。

○そのモデル市町村はもう決まっていて、公表され、実際事業が始まっており、何年間実施し評価するということが決まっているということによいのか。

→資料1の8、9ページに各市町村の重点健康指標を上げさせてもらっている。その中で是非やってみたいという意欲のある市町村と一緒に何年間か取り組みを行い、評価し、良い点悪い点を整理し、他の市町村にも伝え、数値の改善を計っていく参考としていただく。

○現時点ではモデルの市町村は決まっていないということか。

→がんについては4つの市町村がきまっているが、それ以外はまだである。

○この資料にあがっている重点指標は毎年調査されるのか。

→毎年、なら健康長寿基礎調査というものを実施しており、そこで指標を見ていく。

○その指標の評価、公表をしてもらっているのだから、それを期待したい。また、それを統計的、専門的に検討してもらうことはよいことである。

○健康寿命に関する要因を研究されるということであったが、専門家に入ってもらいやってくれるのか。

→この調査は日本人を対象とした論文や文献や学会等で認められている統計データをチェックし、例えば食事やたばこについて減塩にすれば、またたばこをやめればどの程度死亡者が減るのかということを集め、統計的に整理をし、検証していく。実施に当たっては専門家に委託をする。

## 2) 事務局より、なら健康長基本計画第5章「健康づくりの予防の推進」について、25年度の実績、成果、課題及び26年度の実績の方向性について説明。(資料2)

○「健康づくりがしやすいまちづくり」は、この基本計画の関係計画の歯車の中には入っていないのか。

→スポーツ振興計画の中、参考資料「スポーツ推進計画に基づく事業の展開(案)」のライフステージに応じた運動にスポーツの推進に健康ステーション設置促進事業としておき、健康増進計画でいう「身体活動・運動の施策」の一つとして、そして本筋は「健康づくりがしやすいまちづくり」にあり、その中で進めて行く。

○スポーツ振興について、市町村ではスポーツ施設などは教育委員会が所管しているが、市町村にも教育委員会と連携して運動を進めるように指導していただけるのか。

→地域スポーツクラブが市町村の施設を使って地域クラブの取組を進めていくこととされており、県ではスポーツ振興課が所管である。そこが市町村の教育委員会やスポーツクラブに地域のスポーツ施設を使ったスポーツクラブの展開を進めようとしているところである。

○また1日8,000歩歩く等、計画の中で進めて行かれると思うが、スポーツ関係だけではなく、関係分野でも、進めて行くように啓発すれば、より進むと思われるが、それに関する計画をお聞かせいただきたい。

→1日8,000歩20分というのは、健康づくりの視点から進めて行くことであるが、スポーツの部分では誰でも楽しめる運動を進めるということで、ライフステージに応じた取り組みをやっていくこととしている。市町村や地域へどういう形で推進していくか、その他関係機関への啓発としては、まずは健康ステーションを設置し、そこを重要な施設としてやっていきたいので、これを市町村に設置していただくのかどうか、どのような方法がよいのか、効果的な方法を考えていきたい。

○栄養について、26年度の取組で減塩健康食の推進があがっているが、高血圧等生活習慣病予防には減塩が重要であることから、取り組みをされると思う。市町村では食生活といえ、食生活改善推進員と一緒に取り組みを進めてきているところであるが、県で減塩食を強力に進めていかれると、食生活改善推進員さんと進めている糖尿病の取組ができないのではないか、あるいは両輪でやっていこうとされているのか、具体的に市町村がどう動けばいいのかなど、どう考えておられるのか。

→資料には、健康減塩食と記載しているが、減塩と合わせて脂肪を減らす、あるいは、なら健康長寿基本計画の重点項目にもあげている栄養バランスのとれた食事の推進も健康食として同時に進めていく。

また、26年度の取組として、対象者や普及内容に応じた効果のある啓発コンテンツと普及啓発手法について検証し、27年度に市町村へもお示しできたらと考えている。

○計画を進めていくキーとなるのは、各市町村の健康ボランティアが住民との橋渡しをする、繋いでいく、行動を起こす事であり、例えば食生活改善推進や健康づくり推進員をいかに上手に活用していくかである。今、このような人への資料提供や指導が抜けているように感じる。5.6年前までは保健所で勉強会や交流会を持ってもらっていたが、それがなくなると、新しい情報が得られない。スポーツや食においても市町村では縦割り行政であるので、それをつなぐのがボランティアと考えている。健康教室などはボランティアだけではできないことであり、行政とうまく連携を取っていくことが重要である。県下にはたくさんの方々の健康づくりのボランティアがおられ市町村で活動されているので、県でその方々を把握し、新しい情報提供や勉強会の機会を多く作っていただき、連携してやっていけば健康づくりももっと進んでいくと考える。宜しく願いした。

○この計画のそれぞれの分野を推進していくための下部組織があるところとないところがあるが、この会議で健康づくりの目標を決めたことは大きく、これからもその進捗管理をしていかなければいけない。そこで、各分野の審議会と連携して進めていくことが大事であり、その代表の方にこの会議に出席いただき意見を述べていただければよいのではないかと。

○未成年者の喫煙対策での喫煙者0%としている対象は、小、中、高校、大学を含めて考えてよいか。

→はい、そうです。喫煙率の調査は困難で、現状値は把握できていない状況にある。

○是非、高校生、大学生の喫煙防止は進めていただきたいので、学校長宛への周知よろしく願いしたい。

→学校長宛に通知しても、なかなか各学校まで行き渡らない現状があり、保健所でも学校との連絡会議を設けているので、そこからも周知を図っていきたい。

○がん検診の受診率について、検診は市町村だけでなく職場等でもされているので、ここに示された値はそこも含まれているのか。また今後これらの調査を毎年どのようにされていくのか。

→この資料にある22年の受診率は、3年に1回国で実施される国民生活基礎調査の結果である。県では毎年行っているなら健康長寿基礎調査で同様の調査を実施し、市町村だけではなく職域なども含めた受診率を見ていくこととしている。全国比較となると国民生活基礎調査のデータとの比較になってくる。

○この会議でしっかりと審議していけば、計画も進んでいくと考える。また、食生活改善推進員さんや健康づくり推進員さんを県はうまく活用できていないという話があったが、これからは、このように県民と関わっている方々と県もうまく連携し、県の健康づくりを進めてもらいたい。